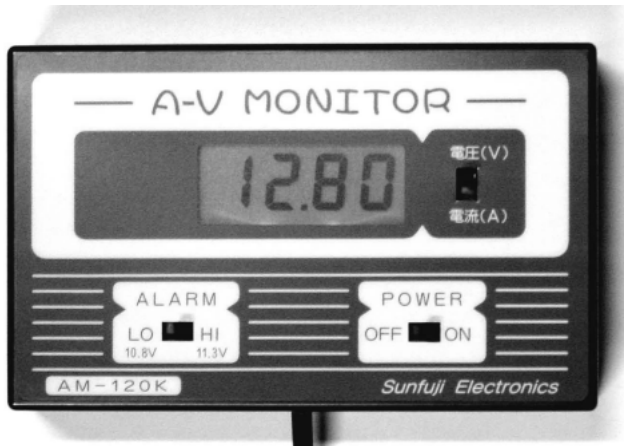


A-V モニター

(補助バッテリー用 デジタル電流/電圧計)

型式：AM-120K-60F AM-120K-110F AM-120K-190F



上の写真は [AM-120K-60F] タイプです

- ・ バッテリーの電圧、充電電流、放電電流を表示します。
- ・ 充電電流はプラス、放電電流（消費電流）はマイナスで表示されます。
（充電しながら消費した場合には、その差が表示されます）
- ・ 最小電流 0.1A から計測されるので、少量器具のスイッチ切り忘れの確認にも役立ちます。
- ・ 11.3V と 10.8V の2段階の残量警報ブザーはバッテリーあがり防止に役立ちます。
（11.3Vは予告として使用すると便利です）
- ・ 暗い車内や夜間でも見やすいバックライト付です。
- ・ [A-Vモニター]の消費電流は 約0.007Aと微少です。
- ・ ケーブル式分流器(電流センサー)の採用により、大電流仕様に於いてもバッテリーへの配線が容易です。また、本体との間は、付属のモジュラーコードで簡単スマートに接続できます。
なお、ケーブル式分流器は温度補償されていませんので、分流器の置かれている周囲温度により電流値の測定誤差が生じます。詳しくは仕様書のページをご覧ください。

サンフジ電子

〒388-8011 長野市篠ノ井布施五明 1-30

TEL 026-292-8290

FAX 026-292-6467

E-Mail sunfuj2@janis.or.jp

<http://www.janis.or.jp/users/fuji2/>

A-V モニター

-60F -110F -190F

(補助バッテリー用 デジタル電流/電圧計)

型式：AM-120K-60F AM-120K-110F AM-120K-190F

型 式	AM-120K-60F	AM-120K-110F	AM-120K-190F
許容電流	60A	110A	190A
適用バッテリー	12Vバッテリー用		
測定方式	電流/電圧 切替方式		
A/D変換方式	二重積分方式		
電流測定 (A)	0.0~±60.0A	0.0~±110.0A	0.0~±190.0A
	充電電流は(+)無表示、放電電流は(-)表示します		
電流測定の確度	分流器温度が15°Cの場合： ±2%rdg±0.1A (rdg：読み値) 15°C以外の場合：上記の値+0.4%/°C (例：5°Cでは-4% 25°Cでは+4%)		
電圧測定 (V)	DC 約7~19.99V 確度±0.3%rdg±0.01V		
測定値表示部	3.5桁液晶表示器 (LCD) 文字高 12.8mm		
バックライト	表示部のバックライト 緑色LED		
バッテリー残量 警報ブザー	HIは約11.3V LOは約10.8V以下になると、ブザーが間欠的に鳴り始めます 電圧低下に応じて鳴る時間が長くなります		
本体寸法	135W×85H×40D mm 突起物含まず 約240g		
ケーブル式分流器 (電流センサー)	約11φ×500L 約150g	約14φ×800L 約300g	約16φ×1200L 約700g
	端子穴径 8.5		端子穴径 10.5
	リード線の長さ 約1m		
モジュラーコード	本体と中継コネクターの接続用 標準長5m 4芯モジュラーコード(付属品)		
消費電流	約7mA (0.007A) アラームブザー時 約13mA		
温湿度範囲	精度保証5~30°C 使用温度-5~50°C 湿度 80%RH以下(結露なきこと)		

(1) A-V モニター 本体

付属の型紙を利用して2本の木ネジを固定し、本体をはめ込みます。

取付場所は電気器具の切り忘れや充電の確認がしやすい出入り口付近が便利です。
直射日光が長時間当たる場所や高温の場所、湯気のあたる場所は避けてください。

(2) 表示部（バックライト付き）

電流(A)又は電圧(V)の測定値が表示されます。

バッテリーに充電される電流はプラスで表示されます。(＋記号は省略)

バッテリーからの放電電流(消費電流)はマイナス(－)で表示されます。

充電しながら電気を使った場合は、その差が表示されます。

電流、電圧とも、1999 を越えると 1xxx 又は -1xxx と表示されます。(xは表示が消える)

(3) 電流／電圧表示切替スイッチ

電流(A)、電圧(V)の測定表示の切替スイッチです。

(4) 電源スイッチ

本体の電源スイッチです。

A-V モニターの消費電流は 約0.007Aと微少ですから、通常はONのままで差し支えありません。
長期間使わない場合には微少電流といえども無駄ですのでOFFにしてください。

(5) バッテリー残量警報切替スイッチ

2段階の電圧低下アラームの切替スイッチです。

H Iは 約11.3V L Oは 約10.8V 以下になると、ブザーが間欠的に鳴り始めます。
バッテリーが充分にあるときは、H I (11.3V) にしておきます。

ブザーが鳴ったら、L O (10.8V) に切り替えて、出来るだけ電気を節約して使います。

L O (10.8V) でブザーが鳴ったら、電気の使用は極力止めて、早いうちに充電して下さい。

(6) 電圧低下アラームブザー

ブザーは間欠的に鳴ります。

電圧低下に応じて鳴る間隔が変わります。

(7) モジュラーコード差込口

付属のモジュラーコードで本体と中継コネクタを接続します。

・ご注意

上記以外の接続は絶対にしないで下さい。電話機や電話回線などに接続すると故障します。

(8) モジュラーコード

5mのモジュラーコードを付属しております。

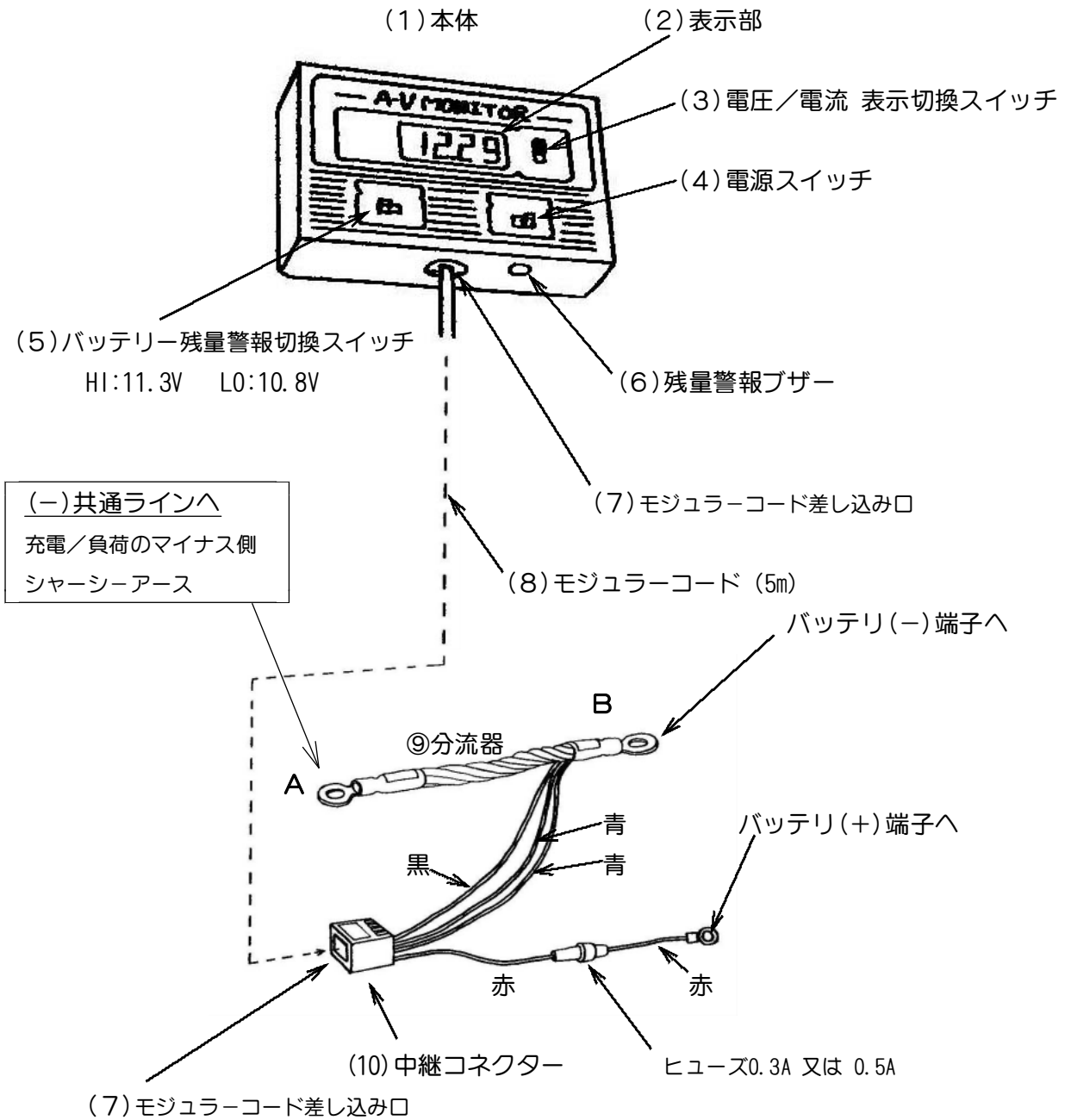
(9) ケーブル式分流器（電流センサー）

補助バッテリー(－)端子に直接接続します。

・ご注意

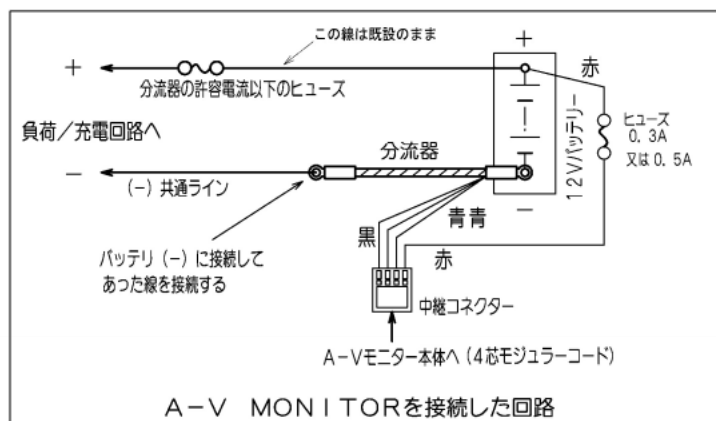
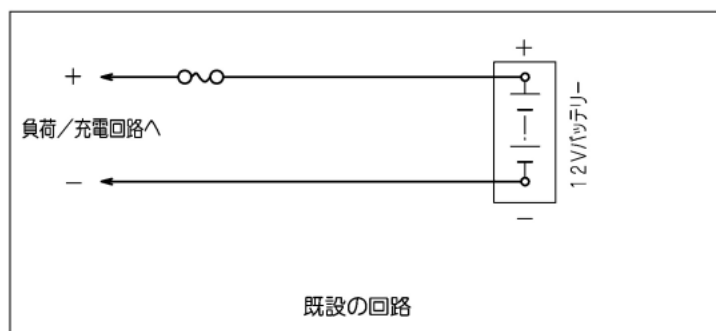
許容電流は、AM-120K-60Fタイプは60A、-110Fタイプは110A、-190Fタイプは190Aです。
バッテリー(＋)側負荷回路には、許容電流以下のヒューズを必ず入れてください。

◎許容電流以上では分流器が発熱し、最悪の場合には焼損、火災の恐れがあります。



・配線手順

- 1、バッテリー(-)に接続してある、既設の全ての線を外します。
(バッテリーを複数個並列使用の場合には、並列接続線は外さない)
- 2、その外した線を分流器のA側端子にボルトとナットで接続します。
(接続後、絶縁テープを巻いておきます)
- 3、赤線をバッテリー(+)に接続します。
- 4、分流器のB側端子をバッテリー(-)端子に接続します。
- 5、モジュラーコードで、本体と中継コネクタを接続します。



・DC-ACインバーターの接続について

DC-ACインバーターの入力電流は12Vの場合、100Wあたりおよそ10Aです。

従って、インバーターのみを接続した場合は下記のようになりますが、他で使用する12V機器の消費電流を考慮して、もっと小容量のインバーターにするか又はフルパワーでの使用を避けるようにして下さい。

いずれにしても、分流器の許容電流を越えないようにご注意ください。

A-Vモニターの型式	許容電流	接続可能なインバーター容量
AM-120K-60F	60A	600W 以下
AM-120K-110F	110A	1100W 以下
AM-120K-190F	190A	1900W 以下

更に大容量のDC-ACインバーターを使用する場合は、分流器を通さないで、バッテリーに直接接続して下さい。この場合はインバーターの電流は分流器を通らないので、インバーターの消費電流は測定できません。